

令和2年度（2020年度）公共事業再評価調査

基準年月日	令和2年8月1日
作成責任者	建設部土木局道路課長 佐藤 匡之
担当係	道路計画係（内線）29-218

調書番号	08-01	所管部	建設部
------	-------	-----	-----

I 基本事項（基準日時点）

事業種別	道路改築事業費（社会資本整備総合交付金）		地区名	まくへつおひひろめがせん 幕別帯広芽室線	市町村名	幕別町
事業費	3,471 百万円	負担割合	国 60%	道 40%	市町村	その他
			2,083 百万円	1,388 百万円	百万円	百万円

事業目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ●帯広圏における帯広市中心部と幕別町・池田町など、十勝東部地域のアクセス強化を図る。 ●幕別町や池田町など、十勝東部地域から、帯広市内に集中している高次救急医療機関への迅速な搬送路を確保する。 ●国道38号などの慢性的な渋滞緩和や、幕別町札内市街地への通過交通の流入抑制を図る。 	事業概要	幕別帯広芽室線は、幕別町から帯広市を經由し芽室町に至る延長約2.3kmの幹線道路である。帯広圏都市交通マスタープランにおける環状道路の唯一の未整備区間である当該事業区間において、橋梁の新設及び2車線道路の整備を行う。			
	【アウトカム】等 <ul style="list-style-type: none"> ●国道38号の渋滞緩和や幕別町札内市街地の交通事故削減 ●医療施設や商業施設等へのアクセス強化 	工事費内訳	【計画】 延長L=2.7km 幅員W=1.25+3.25+3.25+1.25+2.50m (2車線、片側歩道) 橋梁工 延長L=0.15km (橋台2基、橋脚1基、上部工1式) 道路工 延長L=2.55km 用地補償費 1式 測量設計費 1式 計	(百万円) 変更前	(百万円) 変更後	
				933	1,102	
				1,195	1,420	
				187	781	
				65	168	
				2,380	3,471	

総合計画での位置付け	施策名	道路交通ネットワークの形成		総合計画：大項目	人・地域
	総合計画：中項目	持続可能な社会・経済を支える社会資本の整備	総合計画：小項目	連携と交流を支える総合的な交通ネットワークの形成	
	施策目標	地域における円滑な交通ネットワークの形成を図る	関連する指標		

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初	H27 (2015)	H27 (2015)	H34 (2022)			2,380	952			
	前回評価										
	今回評価		H28 (2016)	R2 (2020)			R7 (2025)	5	3,471	1,388	215

変更理由・内容	<ul style="list-style-type: none"> ●事業期間の変更 (1) 用地取得に想定以上の時間を要したため ●事業費の変更 (1) 環境調査実施のため (2) 示方書改定による橋梁修正設計実施のため (3) 物件移転等の補償費増加のため (4) 資材及び労務単価の上昇や消費税税率の変更のため
---------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ●H18年：幕別町より要望（以降毎年） ●H19年：帯広圏都市交通マスタープランを策定（骨格幹線道路網・「一環状」） ●H21年：札内新道延伸整備促進検討会（帯広建設管理部、幕別町）を設立 ●H28年：現地説明会（沿道住民を対象）を開催 										
2. 事業検討の経緯（住民ニーズの把握等）	<ul style="list-style-type: none"> ●H24年～H25年：道道認定、現地調査および予備設計 ●H26年：詳細設計 ●H27年：事業着手 ●H28年：交差点協議、自然保護団体協議（以降、継続実施） 										
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ●当該区間に並行する国道38号や幕別町札内市街地を通過する交通の分散化が図られ、帯広圏の安全で円滑な交通に寄与する。 ●幕別町及び池田町など十勝東部地域から医療施設が集中する帯広市内への迅速な救急搬送経路の確保が図られる。 ●帯広市街地と十勝東部地域の交通アクセスの強化により、地域間の交流促進が図られる。 										
4. 関連する事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費(百万円)</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容					
事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容							

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画														
	施工(工種)区分	工事内容	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7	進捗状況	事業費(百万円)
	橋梁工	L=0.15km												0%	1,102
	道路工	L=2.55km												3%	1,420
	用地補償費	用地買収・物件補償												69%	781
	測量設計費	測量設計・地質調査												83%	168
	(2) 進捗状況														
	<ul style="list-style-type: none"> ●用地取得に時間を要したことで工事着手が遅れたが、令和2年度中に用地取得を完了させ、保安林解除や河川占用許可について申請を予定。 ●令和3年度は送水管補償を完了させる予定。 ●用地取得後、本格的な工事着手となることから、令和7年度まで事業期間を延伸する。 														
	b	a：概ね予定どおり実施している。 b：事業計画（期間）等を変更し実施する。 c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。													

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)		費用の内訳(百万円)		B/C	備考 経済効果は整備による走行速度の向上が見込まれることを想定し、「費用便益分析マニキュアルH30.2」（国土交通省道路局 都市整備局）により50年間の便益として算出した費用、便益を現在の価値に換算している。また、50年間の現在価値に換算した維持管理費も同様に加えている。
	項目	R2現在	項目	R2現在	R2現在	
	走行時間短縮便益	4,275	事業費	3,224		
	走行経費減少便益	763	維持管理費	229		
	交通事故減少便益	212				
	合計(B)	5,250	合計(C)	3,453	1.52	
	前回評価年度：H25年度 前回評価時B/C：2.44 変更理由①：用地取得に想定以上の時間を要したことによる事業期間の延伸 補償物件の増加および環境調査などの変更 労務及び資材等の単価上昇、消費税増税による変更					

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組の内容	縮減額(百万円)
	資源循環の促進	再生アスファルト合材を使用することによるコスト縮減	40
	橋梁幅員の見直し	橋梁部の路肩に縮小値を採用することによるコスト縮減(1.25m→1.0m)	38

V 評価											
1. 必要性	●都市交通マスタープランの骨格幹線道路網の「環状」機能を担う区間にある唯一の未整備区間であり、国道38号など周辺路線の混雑解消及び医療施設へのアクセス強化など早期整備が必要である。										
	a : 事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b : 着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。 c : 着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。										
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 ●鳥獣保護区、保安林、猛禽類古巣林への影響を比較検討し、自然環境に配慮したルートを選定した。 ●工事実施に当たっては、排出ガス対策型建設機械使用及び低騒音、低振動の機械を採用など、地域環境に配慮して事業を進める。 ●河川汚濁防止のため、濁水処理などに配慮し施工する。										
	(2) 事業推進に対する住民の動向 ●札内新道延伸整備促進検討会、および幕別町から道路の早期完成、整備促進の要望が行われている。										
	(3) その他の課題 なし										
3. 事業達成の見込み	用地取得に時間を要していたが、事業区間内における民有地の取得は令和2年度中にすべて完了する予定であり、今後は令和7年度の完成を目指し、順調に事業を進捗できる見込みである。										
	a : 現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b : 課題はあるものの達成は可能である。 c : 大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。										
4. 対処方針	用地取得後は事業の進捗に影響する課題はなく、事業達成が十分に見込まれる。										
	a : 継続 b : 終了 c : 休止 d : 中止										
<table border="1"> <tr> <td>事業期間の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業費の変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>無</td> <td>目的・規模等に係る変更</td> <td>無</td> <td>左記以外の変更</td> <td>無</td> </tr> </table>		事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	目的・規模等に係る変更	無	左記以外の変更	無
事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	目的・規模等に係る変更	無	左記以外の変更	無		
VI 備考											
1. 評価履歴	事前評価：平成25年度実施、評価結果：要望を行うことは妥当 B/C:2.44										
	前回評価時における委員からの意見：橋梁の橋脚を河道内に設置すると施工やメンテナンスを行う上で最適にならないことが多いため、今後の詳細設計の際に計画内容を十分に検討すること。										
2. その他の取組事項											

補足資料

VII 事業計画変更							(単位：百万円)						
事業期間	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)	
事業期間	事前評価又は当初	H27 (2015)	H27 (2015)		H34 (2022)			2,380	952				
	変更①	1回目	H28 (2016)	R2 (2020)	R7 (2025)			3,471	1,388	215	720	21%	
	変更②												
	変更③												
	変更④												
	変更⑤												
	変更⑥												
	変更⑦												
	変更⑧												
	変更⑨												
	変更⑩						5						
変更理由・内容	変更①：事業期間の変更 用地取得に想定以上の時間を要したため 事業費の変更 道路橋示方書改訂に伴う橋梁設計の変更や環境調査における継続調査費用の増加、物件調査に基づく移転工法変更等による補償費の変更、また労務及び資材等の単価上昇や消費税増税に伴う変更												

事業概要図

事業名	道路改築事業費 (社会資本整備総合交付金)	地区名	幕別帯広芽室線
-----	--------------------------	-----	---------

事業地区位置図

